ムーンショット型農林水産研究開発事業『土壌微生物叢アトラスに基づいた環境制御による循環型協生農業プラットフォーム構築』キックオフシンポジウム（案）

プロジェクトの目的

ムーンショット目標 5 である「2050 年までに、未利用の生物機能等のフル活用により、地球規模でムリ・ムダのない持続的な食料供給産業を創出」の達成に向け、研究がスタートしました。

その中で「2050 年までに、微生物や昆虫等の生物機能をフル活用し、完全資源循環型の食料生産システムを開発する」に資する研究として、早稲田大学の竹山春子をプロジェクトマネージャーとして「土壌微生物叢アトラスに基づいた環境制御による循環型協生農業プラットフォーム構築」が採択されました。

土壌微生物叢アトラス、作物、環境制御・測定、栽培マネジメント、社会科学の５つのサブグループにより研究体制を構築し、化学肥料・農薬を極力削減する循環型協生農業を可能とする「循環型協生農業プラットフォーム」を構築します。このプラットフォームを基礎として、未来型の農業土壌のマネジメントにより食糧生産の新しいイノベーションを目指します。

日時：2021 年 5 月 22 日（土）13：00－16：30

会場：早稲田大学リサーチイノベーションセンター コンファレンスルームからオンライン配信

主催：

ムーンショット型農林水産研究開発事業「循環型協生農業プラットフォームコンソーシアム」

共催：

生物系特定産業技術研究支援センター

早稲田大学　規範科学総合研究所

早稲田大学 グローバル科学知融合研究所

早稲田大学 先進生命動態研究所

協力：

ムーンショット型農林水産研究開発事業「昆虫利用型食料生産コンソーシアム」

申込先: 下記フォームからの申込受付後、zoom URL をお送りいたします。

https://docs.google.com/forms/d/1yxtqKFVch8ApgBdlwCf68hwpFtTwgGBdnROukTe9MLw/edit

問合せ先：

MS 循環型協生農業プラットフォームコンソーシアム事務局

Email: moonshot5@list.waseda.jp

申込締切：2021 年 5 月 21 日（金）12:00

【プログラム】

・開会挨拶：

千葉 一裕（プログラムディレクター/東京農工大学 学長）

・来賓挨拶

鈴木 馨祐 （衆議院議員/国際連合食糧農業機関(FAO)議員連盟　事務局長）

農業水産技術会議（折衝中）

Tom Kuczynski （駐日欧州連合代表部　科学技術アドバイザー）

・挨拶

沖 和尚 （生物系特定産業技術研究支援センター 所長）

・プロジェクトの説明

竹山 春子（プロジェクトマネージャー/早稲田大学 教授）

・代表機関および共同研究機関の代表挨拶

笠原 博徳 （早稲田大学・副総長）
直井 勝彦 （東京農工大学副学長・理事）
小安　重夫（理化学研究所・理事）

・研究紹介（サブグループ代表から）

竹山 春子（早稲田大学）：

サブグループ 1-1 土壌環境 - マイクロバイオーム真相相互関係解析チーム

田中 剛（東京農工大学）：

サブグループ 1-2 土壌ミネラル循環システム開発チーム

松井 南（理研環境資源科学研究センター）：

サブグループ 2 作物グループ

和田 智之（理研光量子工学研究センター）：

サブグループ 3 環境制御・測定グループ

市橋 泰範（理研バイオリソース研究センター）：

サブグループ 5　栽培マネジメントグループ

下川 哲（早稲田大学政治経済学術院）：

サブグループ 4 社会科学グループ

・パネルディスカッション：

モデレーター　濱田 隆徳（目標 5 アドバイザー）

パネラー：

鈴木 馨祐（衆議院議員/国際連合食糧農業機関(FAO)議員連盟 事務局長）

有馬 暁澄（Beyond Next Ventures 株式会社)

千葉 一裕（プログラムディレクター/東京農工大学 学長）

齋藤 雅典（目標 5 アドバイザー）

竹山 春子（プロジェクトマネージャー/早稲田大学 教授）

朝日 透（早稲田大学 教授）

・閉会の辞